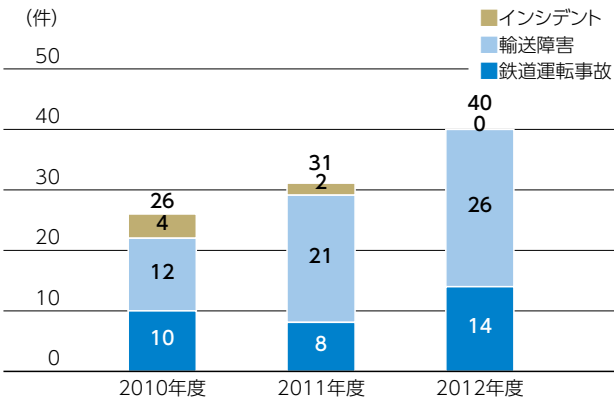


2012年度 輸送安全の実態

事故・インシデント等の発生状況と再発防止措置

●事故・インシデント等の発生状況



■鉄道運転事故とは

「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

■輸送障害とは

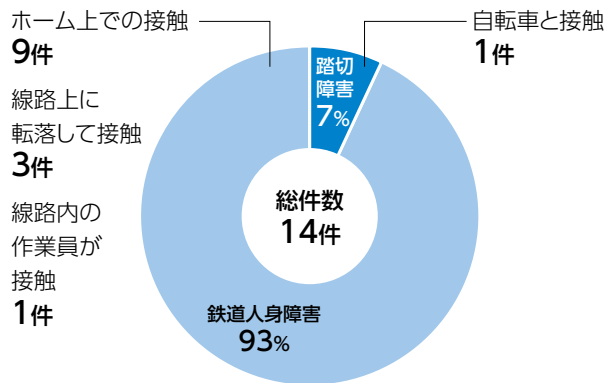
鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

■インシデントとは

事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態をいいます。

■鉄道運転事故の発生状況

2012年度は14件の鉄道運転事故が発生しました。



■踏切障害(1件)

- 踏切側道を自転車で走行中によりけて転倒して自転車が列車に接触した。(1件)

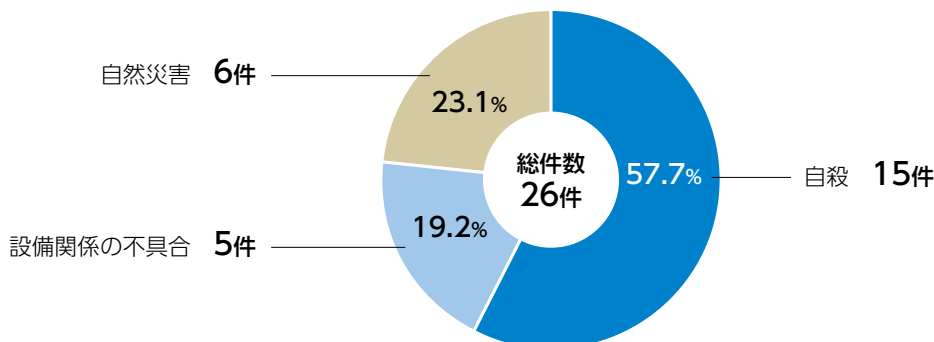
■鉄道人身障害(13件)

- 飲酒されたお客さまがホーム上で列車に接触した。(9件)
- 線路上にお客さまが転落して列車に接触した。(3件)
- 線路内の作業員が列車と接触した。(1件)

※これらの事故や障害により、お客さまに多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

■輸送障害の発生状況

●輸送障害の内訳



2012年度 輸送安全の実態

自然災害による列車遅延

●台風(雨・風)による影響

2012年6月19日の台風4号および9月30日の台風17号の影響により、京王線・井の頭線の一部または全線で運転を見合わせました。

●降雨による影響

大雨の影響により、一部運転見合わせを実施した日が年間1日発生しました。

●風による速度規制

多摩川橋梁付近地で、強風により速度規制または一時運転見合わせを実施した日が、年間24日発生しました。

●地震による影響

地震による影響はありませんでした。

●落雷による影響

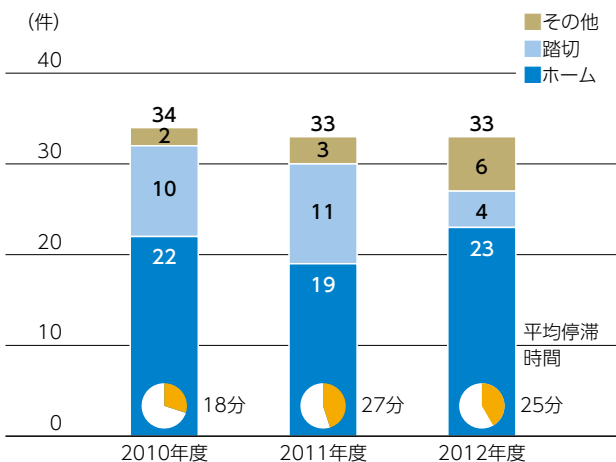
2012年8月17日に発生した落雷による機器故障により、一部列車に運休や遅延が発生しました。

●降雪による影響

2013年1月14日の降雪の影響により、一部列車に運休や遅延が発生しました。

2012年度に発生した人身事故

●人身事故の発生件数と平均停滞時間



人身事故について

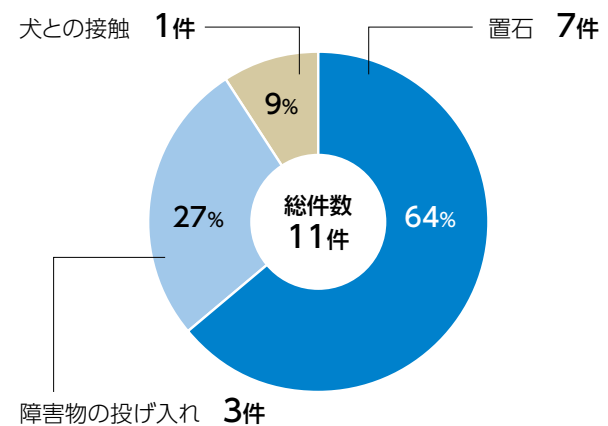
2012年度の人身事故発生件数は33件で、うち自殺が19件、飲酒されたお客さまがホーム上で列車と接触が9件発生しています。

事故発生時には、早期の運転再開を目指しますが、お客さまおよび係員の安全を最優先に作業いたしますので、ご理解をお願いいたします。

列車運行を妨害する行為

列車運行を妨害する行為には、線路への置石および物の放置、列車への投石などがあります。このような行為は、列車往来危険、器物損壊罪などの犯罪行為であり、安全を脅かすものです。当社では防犯カメラや赤外線センサーの設置のほか、最寄りの警察署と連携して巡回を強化し、再発防止に努めています。

●列車妨害発生状況



保安監査の実施

2012年10月23日～26日の4日間、国土交通省関東運輸局による保安監査が実施されました。鉄道事業本部の当社、および現業における輸送の安全確保に関する取り組み状況などを確認しました。